

嘉麻市社協だより

お母さん、上手にできた？

～おしゃべりサロンで

ミニハットづくり～

# えがお

発行日 2010.4.1

No.50



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

# 虐待は子どもと親のSOS

特定非営利活動法人

ふくおか・こどもの虐待防止センター

運営委員 入江春代さん



児童が親から虐待を受けて死傷したという事件が新聞やテレビにおいて、連日のように報道されています。ここ最近だけでも、博多区や奈良県、埼玉県で、親の身勝手な理由によって、幼児を虐待死させるという事件があり、誰もがその事実衝撃を受けるとともに、「なんとかならなかったのか」との思いを持たれたのではないのでしょうか。

一般的には、「虐待をする親」が悪いと思われがちですが、これだけ虐待が増えている現状を鑑みると、別なところにその要因があるように思うところです。

今回のVOICE NO.12では、前述した「なんとかならなかったのか、また、できなかったのか」ということを考えてみるため、入江春代さん(特定非営利活動法人ふくおか・こどもの虐待防止センター運営委員)にお話を伺いました。

●児童相談所への虐待に関する相談件数は年々増加しているようですが、虐待自体が昔と比べて増えてきているのでしょうか？

児童相談所の児童虐待相談件数を見ると、平成2年度に全国で1,101件だったものが、平成20年度には42,662件と飛躍的に増えています。そこには、地域社会からの家族の孤立や経済的な困窮など、様々な要因があると思います。また、昔はしつけと捉えられていたものが、虐待への関心や認知度が高まったことよって、通報や相談につながることも増えてきていると感じます。

●虐待自体が増えてきているということは、感情を抑えられない、子どもへの愛着が薄いといった特別な親が増えてきているということなのでしょうか？

虐待は、個人的な問題のある特別な親が引き起こしているものとは思えません。

そこには、先程も申しました、夫婦の不和や子育てに対する不安、経済苦などからくるストレス、家族の社会的孤立など様々な要因が潜んでいると思います。ですから、虐待をする親に責任を求めただけでは、何の解決にもならないと思います。

●しつけと虐待の境目についてはどうお考えですか？

しつけと虐待については、あいまいに捉えられがちですし、虐待をした親からは「しつけのつもりだった」という声が多く聞かれます。しかし、どんなに愛情があっても、またそれがしつけのつもりであつても、結果的に子どもの健やかな育ちに悪い影響を与えているとすれば、それは虐待になります。日本には昔

から「痛い目にあわせないとわからない」というように暴力を是認するような考えがあります。それは親が子どもに対する暴力を正当化するための理由でしかないと思います。しつげに暴力を用いること自体を考え直さなければならぬのではないのでしょうか。

●法律では虐待を発見した者は通告しなければならぬということになっていますが、間違いだつたらなどと考え、なかなか通告しづらい面もあると思うのですが、その点についてどうお考えですか？

確かにそのような面もあると思います。しかし、児童虐待の防止等に関する法律の中では、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者」は通告しなければならぬとなつています。つまり、虐待を受けているという確

証がなくても構わないのです。通告者のプライバシーは完全に守られますので、異変などに気づいたり、気になることがあれば、子どもの命を第一に考えて、市の窓口や児童相談所に相談してください。

●事件に至る前に地域社会市民としてできること、取り組むべきことは何なのでしょうか？

子どもや親からのSOSをいち早くキャッチして、支援につなげていくこと、地域社会からそのような家族が孤立するのを防ぐということです。

ですから、市町村や教育機関、医療機関などの公的機関のみならず、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域住民、企業等がネットワークを築いて、子育てに悩んでいる親に寄り添っていくことが必要なのではないでしょうか。

今回入江さんは、「虐待は子どものSOSであると同時に、親のSOSでもある」と言われました。虐待という行為自体は、絶対に許されるべきものではありませんが、親を非難し、その親が悪いというだけでは何も変わらないと思います。

であるなら、地域の構成員である住民一人ひとりが、この問題を社会(地域)の問題と捉え直して、虐待に至らないよう、地域全体で親のSOSを受け止め、支援するための取り組みを進めていくことが、必要であることをあらためて確認することができました。



## 地域支えあい事業 協力会員募集中!!

本会が実施する地域支えあい事業は、「困ったときはお互いさま」という関係を地域の中に広げていくことを目指しています。

日常生活において、高齢となったり、障がいがあると、自分の力だけでは解決できないちょっとした困りごとも増え、その解決のために家族や友人などの力を借りることができない場合は、不自由な生活をせざるを得なくなってしまう。

これまでも、困りごとを抱える利用会員から、ヘルパーに頼めない部分の掃除をしてほしい、高いところの掃除をしてほしいなど、様々な相談が寄せられています。現在、協力会員の登録が37名に対して、利用会員は92名と大きく上回っているため、これから更に増える利用会員の困りごとを解決していくために、協力会員を募集いたします。特別な資格や知識は必要ありませんので、地域のために、あなたの力を役立ててみませんか？

なお、活動いただいた協力会員には、その内容、時間に応じて協力手数料が支払われる仕組みとなっていますので、詳しい内容を知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。



嘉麻市社会福祉協議会 TEL 0948-42-0751

## NPO法人 まちのカルシウム工房

NPO法人 まちのカルシウム工房／東海大学福岡短期大学 准教授 竹内裕二

4月は、私たちの身の回りで様々なものが新しくなる節目の月です。例えば、テレビ番組は新番組が多くスタート、学校は新学期、職場も新年度など…。私たちにとって「新しい」ということは、気分も変わりうれしくなりませんが、その一方で人間関係などで不安になったり、悩んだりもします。

新しいことは、これまでの環境と異なり、その環境に慣れるまで時間がかかります。多くの読者が体験したことがあるかと思いますが、環境が変わることで周囲の方々に気を遣いながら会話を大切にしなければなりません。

2月19日(金)に第2回地域福祉部研修会を行いました。この時のテーマが「あいさつ」でした。第1回目の会合で、その重要性を認識したので「あ

いさつ」をどのような形で実践活動にすべきかを具体的に検討しようと思いました。ところが、会合が始まって10分も経過しないうちに「わからない」という声が、あちらこちらから出てきたのです。困ってしまいました。

参加者の皆さんにとって「あいさつ」は、日常生活や地域活動の中で最も大切なことであり、最も基本的なことだと認識してはいますが、「あいさつ」そのものが生活の中の「当たり前」なことであり、意識せずに普通に行っている行為なのです。それゆえに、これら当たり前に行う行動を実践活動にするという意識がないのだと思います。だからこそ、いざ実践活動と言われてもイメージすらできないのだと思います。参加者にとつて、考えもしなかった

事柄を考える難しさを実感していたようです。

一般的な会議では、現象面だけを捉えて解決しようとするがあまり、本質的な部分まで議論する機会はありません。日頃当たり前と思えた事柄の本質を追究することは、今後行う「活動」の意義を明確にさせることなのです。このことを行動する前にしっかりと決めておけば、実践活動に移って参加者の意思がぶれたとしても、原点に立ち返り、基軸を元に戻すことができるのです。多くの地域活動では、この作業を疎かにすることが多いようです。それゆえに地域活動が継続しないのかもしれないと。つまり読者の皆さんが「地域活動を実践する順番ですよ」と言われても、何をしようのかからないというのもここに

原因があるのです。一歩踏み出す勇氣と活動を続けることの気持ちを継続させるために大切な事なのです。これらが分かかって活動したならば、きつと周囲との調和が取れ、一致団結する可能性が高くなります。しかし焦らないでください。活動を始めたからと言って即連携が取れるわけではありません。地域活動を継続させるコツは、自分たちでできることから始めることです。すなわち「交流」だと思えます。お互いのことを理解して、初めて連携した活動ができます。物事は、何もないとことから突然何か生まれることはありません。原因と言う名の「きっかけ」があるはず。そのきっかけを求めて身近な隣近所の方々、友人などの会話からではないでしょうか。

読者のみなさん、必ずできるはず。身近な人から練習できます。きつと、賑やかな地域、賑やかな地域は、そこに住む人々しか作り出すことはできません。これからのように成長するのが楽しみです。応援しています。

## 竹内裕二氏プロフィール

NPO法人 まちのカルシウム工房 理事長  
東海大学福岡短期大学 准教授

1968年 北九州市生まれ。東海大学大学院工学研究科博士課程前期修了、北九州市立大学大学院社会システム研究科地域社会専攻博士課程修了。まちを元気にしたいという思いを込めて「NPO法人まちのカルシウム工房」を設立し、まちと人をつなぐ活動をしている。また、東海大学では、地域総合連携研究室にて、様々な地域活性化プロジェクトに取り組んでいる。



# 一人ひとりの行動こそが まちづくりに 平成21年度 第2回 地域福祉部研修会開催

2月19日(金)、稲築地区公民館において、平成21年度第2回地域福祉部研修会が開催されました。

この地域福祉部は、そこに暮らす住民が地域の福祉課題を発見し、その解決に向けた話し合いと活動につなげていくための母体組織として、本会が行政区を単位に推進しているもので、現在は、稲築地区の22行政区に設置されています。

これまで、テーマと講師を同じにして、継続した内容で開催したことはありませんでしたが、当日の参加者は66名と少なかつたものの、38名は継続の方々と、今回の内容に対する関心の高さがうかがえるものとなりました。また、地域福祉部が未設置である碓井、山田、嘉穂地区の行政区長、民生委員等の参加もあり、徐々にではありますが、地域福祉部への興味、関心も深まってきているように感じます。

今回の研修会は、前回決まった「あいさつのできるまちにするにはどうするのか」をテーマに、グループで話し合いました。その中で、「自分の地域で人に出会ったら、積極的にあいさつをするようにしましょう」や「返事が返ってこなくても、もう一度あいさつしよう」など、テーマを実現していくための具体的な活動(行動)案が出てきました。

講師の竹内裕二氏(東海大学福岡短期大学准教授)は、「みなさんから出された具体的な案を一人ひとりが実践し、地域全体に広げていくことが今日のテーマである『あいさつのできるまち』につながっていくのではないのでしょうか」と語りかけました。

参加者の一人である大谷福祉推進員は、「樋渡行政区の地域福祉部は、発足して一年ちょっとですので、今日の話参考に、何ができるかをみんなで考え、少しずつ行動して行きます。」と、今後に向けた思いを話します。

今回、はじめてチャレンジしたワークショップで、地域住民のいろいろな思いや、アイデア等を出し合うことの大切さを学びました。本会としても、今後、このプロセスを地域福祉部のみなさんとともに実践し、具体的な活動につなげていきたいと考えています。



グループでアイデアを出し合いました

## ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました NO.5 飯田サロン

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

今回おじゃましたサロンは、発足から5年目を迎える碓井地区の飯田サロンで、奇数月の第2火曜日になると、飯田区民センターに毎回25名前後の方々が集まってきます。

このサロンは、75歳以上の女性が多いこと、必ず血圧測定や手足を動かすいきいき体操を行うこと、また、年4回出前講座を開催するなどの特徴があります。

おじゃました3月9日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、24名が参加していました。弥生の節句を祝うということで、参加者が持ち寄った自家製野菜でちらし寿司などが振舞われたほか、ハワイアンドレスを身にまとった3人(参加者)によるフラダンスの余興も行われ、おいしい料理とかわいらしい踊りに笑顔が絶えませんでした。



当初から訪れている参加者のお一人からは、「みんなこのサロンのためにおしゃれしてくるとよ。ここに来て動かせる体はどんどん動かして楽しまないかね。」と、この日をエンジョイしている様子が聞かれました。

代表である高原綾子さんと仲野千鶴子さんは、サロン開催の前々日には、一人ひとりに参加を呼びかけています。その甲斐あって、今では、毎回の参加者が増えているそうですので、これからも新しい仲間を交えて、さらに元気で、楽しい場所となってほしいものです。

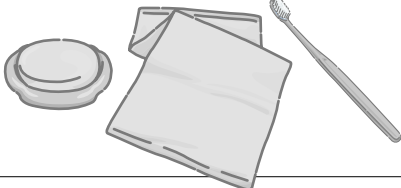


# かまボランティア 市民活動センター情報

2010年  
4月

## 今年度もホームレス支援活動にご参加ください!!

本会は、今年度も年間を通じてNPO法人北九州ホームレス支援機構が実施する支援活動に、積極的に参加していきます。北九州市新勝山公園での支援ボランティアや支援物資による協力など、いろいろありますので、可能な方法でぜひご参加ください。

支援活動にボランティアで参加	支援物資による協力	支援会員として協力
<p>《活動日時》 平成22年5月14日(金) 午後6時 稲築住民センター 出発 午後11時 帰着予定</p> <p>《募集人数》 3名程度(18歳以上の方)</p>	<p>《募集する物資》 男性用靴 (25cm以上で、洗濯・クリーニングされたもの) タオル・歯ブラシ・石鹸・かみそり (未使用のもの)</p> 	<p>《会費額》 1,000円/1口(年額) ※ご協力いただいた会費 で必要な物資を購入し、 ホームレスの方に届け ます。</p>
<p>《募集期間》 平成22年4月1日(木)～5月12日(水)</p>		

## ボランティア募集情報

### 嘉麻赤十字介護奉仕団 サルビアの会 (上山田)

嘉麻赤十字介護奉仕団サルビアの会では、一緒にボランティア活動をしてくださる方を募集します。

- 場 所** 嘉麻赤十字病院デイケア  
(嘉麻市上山田1237)
- 内 容** 誕生会でのレクリエーションの補助、利用者との話し相手など  
(可能な日時で構いません)
- 準 備 品** 上靴(運動靴)、動きやすい服
- そ の 他** 嘉麻赤十字介護奉仕団サルビアの会への登録が必要となります。
- 問 合 せ 先** 嘉麻赤十字病院 0948-52-0861

### 介護老人保健施設 シルバーケア嘉穂 (鴨生)

施設入所者やデイケア利用者をサポートしていただけるボランティアを募集します。

- 日 時** 月曜日～土曜日の9時～16時  
(可能な日時で構いません)
- 場 所** 介護老人保健施設 シルバーケア嘉穂  
(嘉麻市鴨生480番地1)
- 内 容** 利用者との話し相手、レクリエーションの補助、外出介助
- 準 備 品** 上靴(運動靴)、動きやすい服、エプロン

《お問い合わせ先》 かまボランティア・市民活動センター TEL 0948-42-0751

# 法人運営 INFORMATION

## 【理事会開催状況】

嘉麻市社会福祉協議会では、右記のとおり理事会を開催しました。

## 第29回理事会

《開催日》 平成22年2月26日(金)

【議案第69号】 評議員の選出区分について

平成22年3月1日、本会の評議員及び各地区の地域福祉推進委員会委員が改選されましたので、紹介させていただきます。なお、任期は平成22年3月1日から平成24年2月29日までの2年間です。

### 《新評議員》

【敬称略・順不同】

選出区分	氏名
地域福祉推進 委員会代表	(稲築) 富崎 政勝
	(稲築) 原田 和代
	(碓井) 仲島 隆生
	(碓井) 原 奈緒美
	(山田) 島田 睦男
	(山田) 近藤 初美
	(嘉穂) 山本 佐一郎
	(嘉穂) 上村 房子
老人クラブ	橋本 利根
障がい者団体	横山 利恵子
女性団体	松岡 智子
地域住民代表	犬丸 和昌

選出区分	氏名
社会福祉に関する活動を行う団体	長岡 秀子
	和田 秀美
民生委員・児童委員	大和 義子
社会福祉施設	伊澤 靖
福祉サービス事業者	竹島 信江
小中学校教職員	石井 一男
高等学校教職員	豊釜 安樹
小中学校PTA連合会	田淵 智美
社会福祉行政関係者	高倉 信行
地域福祉の推進に必要な 主要な団体	東 美那子
学識経験者	森田 洋子

### 《新地域福祉推進委員会委員》

【敬称略・順不同】

	稲 築	碓 井	山 田	嘉 穂
委員長	大山 博之	竹島 寿男	村上 曙生	篠崎 博保
副委員長	越岡 加代子	坂口 陸海	島田 睦男	大塚 香代子
委員	松田 茂	藤中 孝幸	近藤 初美	山本 佐一郎
〃	富崎 政勝	頼金 豊子	赤間 秀人	柿坂 ハツ子
〃	原田 和代	江藤 司	田端 和子	正中 久仁子
〃	山下 和代	坂田 雅量	浜野 美雪	岡田 弘子
〃	西野 眞奈美	山元 百合子	浜 健士郎	江藤 兆司
〃	渡辺 美千代	原 奈緒美	渋谷 スズミ	大塚 加代
〃	中並 美潮	仲島 隆生	尾田 卓夫	上村 房子
〃	永水 正弘	永井 信江	大村 正毅	広田 幸雄



**子どもたちと  
ひとつぎの交流**

かほデイサービス

本会が受託運営しているかほデイサービスの利用者は、3月5日(金)、嘉穂第一保育所において、子どもたちと交流をはかりました。

「おばあちゃん、一緒に遊ぼう!」と誘われたみなさんは、幼少時代にもどつて、お手玉やあやとり、まごことなどを子どもたちと一緒に楽しみました。

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

2月16日～3月15日受付分

【鴨生北町】

親族 野原 雅夫 様  
故 野原 伸長子 様

【鴨生第一】

親族 金丸 ヤツ子 様  
故 金丸 昌徳 様

【宮地】

親族 大畑 貢 様  
故 大畑 ツヤ子 様

【緑ヶ丘】

親族 清嶋 巖 様  
故 清嶋 薫 様

【新山野】

親族 坂本 幸一 様  
故 坂本 利美 様

【漆生本村】

親族 佐土島 正勝 様  
故 佐土島 正志 様

【光代】

親族 佐藤 ハルミ 様  
故 佐藤 昭夫 様

【上白井下】

親族 有吉 博幸 様  
故 有吉 ヨシミ 様

【木城】

親族 貞松 稔子 様  
故 貞松 龍二 様

【長野】

親族 中島 敏明 様  
故 中島 正喜 様

【大橋】

親族 坂本 京子 様  
故 坂本 善隆 様

【上西郷】

親族 井桁 勤 様  
故 井桁 フミエ 様

【下牛隈】

親族 鎌田 愛子 様  
故 鎌田 訓 様

【上】

親族 大塚 敏行 様  
故 大塚 孝子 様

【桑野】

親族 有江 範寧 様  
故 有江 トシエ 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

銭代坊 工藤 恵 様  
鴨生北町 中嶋 亜紀子 様

漆生南部 佐藤 忍 様  
南ヶ丘団地 石川 啓子 様  
西馬見 匿 名 様  
桂川町 道庭 一花 様

【アルミ缶】

平東 三木 泰信 様  
下白井東 匿 名 様  
ゆうひが丘 梶原 久美子 様  
本町 室井 榮子 様  
飛鳥会館 飛鳥 様  
セレモニーホールおおつか 様  
嘉穂つ子キッズ 様

【リングプル】

西岩崎 匿 名 様  
山野第二 古賀 絹江 様  
辻中籠 永水 清子 様  
上白井上 匿 名 様  
上白井下 仲島 幸枝 様  
西郷 斉藤 孝志 様  
大橋 姉川 亮太 様  
木城 貞松 稔子 様  
嘉麻市温水プール 嘉麻市温水プール 様  
スイミングプラザなつき 様  
あさひ美容室 様  
嘉麻市保護課 様  
上山田小学校奉仕委員会 様  
下山田小学校PTA 様  
桂川町 中川 久美子 様

【古切手】

漆生南部 宇野 洋子 様  
山野第二 古賀 絹江 様

辻中籠 永水 清子 様  
下山田郵便局 様  
下山田小学校PTA 様  
教育ナビゲーション(株) 様  
N T T退職者の会 様  
筑豊地域協議会 様  
パソコン教室 様

あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご  
加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
2月16日～3月15日受付分

【個人会員】

〈嘉麻市嘉穂地区民生委員児童委員協議会〉藤原美恵子、廣次誠、宮本重臣、實藤茂代、益田ミドリ、中島暁子、中村笑子、貴田典子、岩崎洋子、櫛ひろ子、川原久美子、田中三根子、稲垣暁美、芹野彌生、川上修子、浦田一義、石川頼子、大野芙美子、伊藤義照、秋山昭代、粉井博文、福田ミチ子、花田眞也、柿坂ハツ子、江藤伸、江郷三千代、大塚善一  
〈枝坂〉匿名、枝坂生寿クラブ  
カラオケ愛好会(十三口)  
〈辻中籠〉原部千鶴香、今宮博美、

永水敏光、松岡勝利、岡野富雄、永水敏親、久家貞美、高木努、渡部正則、川波和子、永水修一、米原太輔、鷹取一美、島田三郎、平田優男、常藤文子、永水久喜、住吉ツルエ、曾我勝博、国武光成、釜堀純子、田中エミ子、田上義雄、田中巖、上提政明、手島隆子、小林道子、緒方宏蔵、中條凌一、永水恭典、坂田和久、中並隆、永水秀一、水永信、中並美潮、永水米蔵、永水正弘、築地原英起、大山利美、水上信子、広畑政勝、笹月守、草場静六、大山時彦、大山章、大山ハツ子、大山静馬、大山フジ子、大山サツ子、千代野一雄、曾我秀治、大山勲、曾我忠、松岡幸夫、吉本キミ子、半田正市、脇田洋、松岡教知、手島光子  
〈飯田〉山中久美代  
〈出川〉和田秀美(二口)  
〈ゆうひが丘〉木本照恵、川上光雄(二口)  
〈百々谷〉西村明美  
〈西川〉山口智子  
〈尾浦第二〉松尾ヒサヨ  
〈中山田上〉広津幸子、新井義孝、新井藤子、吉塚戊、吉塚愛子、大畑美千代



- 〈中山田下〉豊重子(五口)
- 〈天神〉諫山テル子
- 〈立石〉白石文代
- 〈三菱第二〉柴田俊夫、柴田禮子
- 〈石ヶ崎〉渡辺泰雄
- 〈筑紫〉荒瀬友子
- 〈下益〉真次重和、真次美恵子、真次ハナエ
- 〈上西郷〉有田弘和、有田美代子、有田勝美
- 〈三日町〉野見山淳子、大村勝彦
- 〈五日町〉宮原健次、宮原恭子
- 〈屏〉大野夏子、粉井春子、粉井藤子
- 〈桑野〉江藤みや子、有江透、大里清子
- 〈東馬見〉鎌田信恵
- 〈上牛隈〉中島伸行、中島由美
- 〈下牛隈〉畠中亨、畠中明美、畠中道幹、畠中ツタエ
- 〈嘉穂才田〉田中かおり
- 〈東畑〉伊藤邦香、伊藤登志代
- 〈桂川町〉林田るみ子
- 〔法人会員〕
- 〔田川郡川崎町〕長弘商店
- 〔団体会員〕
- 〔銭代坊〕銭代坊行政区(百口)

**\* ふれあい千歳新聞 \***

**山田ふれあいハウス利用時間変更のお知らせ**

山田ふれあいハウスの利用時間が、4月1日(木)～10月31日(日)までの間、2時間延長となって、**午前9時から午後7時**までとなります。ごゆっくりご利用下さい。

**問い合わせ先 山田ふれあいハウス TEL 0948-52-1847**

嘉麻市社会福祉協議会指定  
**葬祭場紹介**

**おかむら葬祭岡村会館**

嘉麻市平1133 ☎(0948)42-4420



- 24時間、承ります。もしもの時はいつでもお電話ください。
- ご予算に合わせて執り行えますので、ご心配ありません。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭岡村会館を含め、市内に8カ所あります。

- 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
- きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
- ひさつね会館……………☎52-0758
- いすや会館……………☎57-4444
- セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
- 善光会館 稲築会場……………☎83-5000

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします。」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について、割引を受けることができます。

**知っておきたい**

**葬儀マナー・基礎知識 No.35**

今回ご回答頂くのは…

おかむら葬祭 岡村会館 岡村勝子さん



**Q** 葬儀の際、ご遺族側から香典不要とされている場合は、どうしたら良いでしょうか？

**A** ご遺族の気持ちを尊重し、お参りをさせていただくと良いと思います。  
また、後日お花やお供物を持って、お参りされると良いでしょう。

**5月の総合相談**

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

**法律相談**

と き: **5月6日(木)** 13:00~16:00

と ころ: **山田ふれあいハウス**

と き: **5月20日(木)** 13:00~16:00

と ころ: **稲築住民センター**

**心配ごと相談**

と き: **5月12日(水)** 13:00~15:00

と ころ: **稲築住民センター**

と き: **5月26日(水)** 13:00~15:00

と ころ: **稲築住民センター**

**嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751**

## 故郷への想い

「故郷」という言葉にいろんな想いがこみ上げてきます。

私の故郷は嘉穂郡碓井町上臼井宮の後下でした。現在は京都の南にある京田辺市に住んでいます。何よりもまず、両親が健在である事です。二人とも九十歳を越しますが、病院には通っているものの、元気に過ごしています。父の時代はしょっちゅう法事をやっていました。しかし私達兄弟は両親の金婚式やダイヤモンド婚式、65周年などスツト慶事はかりでおめでたいかぎりです。二人の存在は私たちの心の支えです。長生きしてくれてほんとうにありがたい。そして老父母をいつも支えて下さっているご近所と周囲の皆様に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

「故郷」という言葉で思い出すもう一つは、山田高校生のとき習った室生犀星の詩です。「ふるさととは遠くにありて思ふもの、そして悲しくうたうもの：」その山高は既に廃校され、帰郷の際に立寄ると、校舎は残っていましたが門には施錠がしてあって、大変悲しい思いがいたしました。この詩を習った時私も将来はどんな異土で、どんな事をしていこうかと漠然と空想していましたが、まさか学校自体がなくなるとは夢想だにしませんでした。小学校で最初の先生は2軒隣のチー先生だった事、幼馴染の先輩達にいろんな遊びを習った事、中学校では病気で半年入院した事、大学入試の際に発熱し、平塚先生に大変迷惑をかけた事。大学に無事入学でき、卒業後は、電機や空調の会社で40年勤め、なんと「異土の乞食(かたいこ)にならずにすみしました。私を育て下さった郷里の皆様方に心より感謝いたします。

碓井町を出て50年近くなりますが、変化の大きさにとても驚いています。炭鉱の閉山に伴いボタ山やトロッコ列車、引き込み線が消え、さらに国鉄上山田線の廃止と消滅などは大変ショックでした。代わりに千手川は水が澄み、大隈川では鯉や鴨や白鷺を見かけます。石炭集荷場跡に織田廣喜美術館が建ち、田圃の中に道の駅やセブンイレブンがオープンし、そして嘉穂郡碓井町が終焉、嘉麻市が誕生…。近年は飛行機や新幹線がより便利になったので、年に2、3回帰郷しています。それでも犀星が詠った帰るところにあるまじや…。という心境が解るような気がします。

まだまだ故郷への想いは沢山ありますが紙面の都合でここまでとします。嘉麻市が益々発展し、より住み易くなることをお祈り申し上げます。



京田辺市在住  
福田 啓三さん(67歳)  
上臼井出身

## 平成22年度も市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

### ～年度も新たに社協会員を募集します～

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、平成22年度も福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



#### ■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。

まずは、嘉麻市社会福祉協議会  
(TEL 0948-42-0751)まで  
ご連絡ください。

枝坂には、当時、日本に一つしかなかった産業医学研究所がありました。昭和14年に建てられたこの施設は、三井山野炭鉱が閉山する昭和48年までの約30年間、ガス炭塵爆発傷や炭鉱労働者の食生活とエネルギー代謝など、多岐にわたる調査・研究が行われていました。

また、当時、「サンケン」と呼ばれていたこの施設の周囲には、写真にもあるように、桜の木が数多く植えられており、満開となる春には、その下で多くの人々が宴を催し、一時の休息と交流の場ともなっていたようです。

閉山後、この施設は炭鉱労働者の年金手続きを行う事務所として、利用された時期もありましたが、現在は取り壊され、石造りの門柱だけが寂しく残っています。

しかし、当時の賑わいを知る人々にとっては、春を迎えるたびに懐かしい思い出がよみがえり、心の中で桜の花の如く、満開に咲き続けることでしょう。

